



発行 郵政産業労働者ユニオン岡山支部
連絡先 岡山市北区中山下2-1-1
岡山中央郵便局 5階
郵送先 700-8799 私書箱222号

真の事故原因究明を！

以前、岡山郵便局輸送部でパレットの扉を有り得ない閉め方で頭部をケガさせられ何か月も労災休暇で休んでいる方（Aさん）がいるとお伝えしましたが、他にも「パレットにぶつかって歯が折れた」「下敷きになった」「指を骨折した」等、パレット絡みの事故が起きているとの報告がありました。このような状況ではAさんが何か月ぶりかで職場復帰してもまた同様の事故に逢うのでは、と不安に感じます。原因究明と再発防止策は議論しましたか？ただ、Aさんは二度も同様のパレット事故を、しかも「わざと」「傷害事件」とも取れる事例だから「いじめ・パワハラ体質」が真の原因でしょうけどね。「気に入らない人はとことん追い詰める」事例がよく報告されますが、まず職場風土から変えて欲しいものです。また「熟練技術が必要な作業なのに短期雇用で凌ごうとする」すなわち「現場の気持ちに寄り添っていない」等、人件費を抑える事だけ考えていませんか？仮に気に入らない方であっても戦力と捉え、活躍できる場を探し与える、経費削減ばかり捉われず社員等みんながある程度のゆとりを持ち真に助け合える、そういう職場になって欲しいものです。

結局要員不足＝過度の経費削減が原因では？

連日、点呼問題で行政処分等の報道をされていますが「組織・体質の問題」と簡単に片付けないでいただきたいものです。以前「要員不足」が原因と記載しましたが、現在土日祝は、岡山中央集配職場では二つの集配部でフロント一人の為、点呼する際もフロント担当者が見付からず出発できない、結果として超勤になった、等の事例が見られます。点呼すべきなのはわかるが点呼執行者が少なすぎるのでは、と感じます。点呼の時間等を加味せず配達作業時間のみで「適正な要員配置」と今まで私たちの増員要求に回答してきた会社側こそ責任を取るべきであり、現場側に「体質」と押し付けないでいただきたいものです。そして今でも「月20時間以内に超勤を抑えろ」や「2パス50%、翌日準備はせず計配してでも定時で退勤しろ」等、自らの出世の為なのか更に上から強く言われているのかはわかりませんが・・・

勤務時間管理も、退勤して1時間程度タダ働きしていても、フロントに座っている役職者からは何も指摘されないのは相変わらずですが、以前も「タダ働きは注意すべきなんだろうけど・・・何が正解なのかわからない」等とはぐらかし、後日勤務時間管理を徹底するよう会社側から言われても「やっている」といった回答をする等、結局、超勤を抑える事が最優先の職場風土です。ギリギリの状況でお客様に届けるのが遅れそうなのに点呼執行者を探す等、おかしいと感じませんか？過去にこのような超勤抑制を厳しく行い出世し今は悠々自適、このような流れは変えませんか？せめて、点呼の時間だけ集配に来て点呼執行を行う、このくらいは、過去に厳しく指導し多くの退職者を出した責任を感じながら実行していただきたいものです。

職場のあれこれ、記事募集中！ ご意見等下記メルアドへ

〔連絡先〕 Eメール：postunion_okayama@yahoo.co.jp

支部メルアドQRコード

